

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公表番号】特表2015-531141(P2015-531141A)

【公表日】平成27年10月29日(2015.10.29)

【年通号数】公開・登録公報2015-066

【出願番号】特願2015-526750(P2015-526750)

【国際特許分類】

G 1 1 B 33/14 (2006.01)

B 0 3 C 3/28 (2006.01)

B 0 1 D 46/02 (2006.01)

B 0 1 D 39/16 (2006.01)

G 1 1 B 25/04 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 33/14 5 0 1 Q

B 0 3 C 3/28

B 0 1 D 46/02 Z

B 0 1 D 39/16 A

G 1 1 B 25/04 1 0 1 F

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月9日(2016.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子機器筐体において使用するためのフィルタアセンブリであって、
スクリム層および媒質層を含み、前記媒質層が静電材料を含んでいる実質的に平坦な第
1 のシートと、

スクリム層および媒質層を含み、実質的に凹状の第 2 のシートと、
前記第 1 および第 2 のシートによって規定された空洞と、
前記空洞内に位置決めされた吸着材と

を含み、

前記吸着材が炭素ビーズを含むフィルタアセンブリ。

【請求項 2】

前記静電材料が、ポリプロピレン繊維とアクリル繊維の混合物を含む、請求項 1 に記載
の電子機器筐体において使用するためのフィルタアセンブリ。

【請求項 3】

前記フィルタアセンブリの前記内部凹部の内部表面積が、前記開放した前面の面積の
少なくとも 2 倍である、請求項 1 に記載の電子機器筐体において使用するためのフィルタ
アセンブリ。

【請求項 4】

前記第 2 のシートが、その形状を実質的に保持する、請求項 1 に記載の電子機器筐体に
おいて使用するためのフィルタアセンブリ。

【請求項 5】

前記第 1 および第 2 のシートが、前記フィルタアセンブリの境界の周辺に溶接領域を

規定し、

前記第 1 のシートが、前記溶接領域で前記第 2 のシートに接続される、請求項 1 に記載の電子機器筐体において使用するためのフィルターアセンブリ。